

施設名称	浜当目海水浴場
------	---------

開設年	1978年	対象年度	令和04(2022)年度
代表建築年	1988年	施設番号	1001010001 中学校区 東益津中学校

施設概要	志太地区唯一の海水浴場で、約400mの静かな浜辺があり海浜公園にも隣接している。無料の駐車場・更衣室・シャワールーム・トイレも整備されている。近隣には海水浴場がないことから、以前より強い設置要望があった。【開設期間：7月上旬から8月中旬】
------	---

基本情報					
所在地	焼津市浜当目3丁目1731-1-1	大分類	産業関連施設	敷地面積 (㎡)	2,474
所管部署	商工観光課	小分類	観光施設	延床面積 (㎡)	83
用途地域	第一種住居地域	財産種別	行政財産	施設棟数	3棟
設置根拠法令		設置条例		建物所有	市有
利用者	市民及び観光客	緯度	34.88		
標高	8.3	経度	138.336		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他

建物情報																
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		劣化度								
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送	総合	点数
シャワー・更衣室			32	RC	1	対象外	対象外	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	-	Ⅱ	-	A	4
屋外便所 (亀)	1995	27	27	W	1	対象外	対象外	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	-	Ⅱ	-	B	3.3
屋外便所 (北側)	1989	33	24	W	1	対象外	対象外	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	-	Ⅱ	-	B	3.3

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

#### 管理運営情報

##### ■経費情報

区分	市の収支 (千円)				指定管理者の収支 (千円)			
	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均
収入								
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0
支出								
光熱水費	191	240	308	246	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	631	639	437	569	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	35	35	35	35	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	970	2,379	315	1,221	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	1,827	3,293	1,095	2,072	0	0	0	0
事業委託費	0	5,596	7,216	4,271	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	463	34	2,519	1,005	0	0	0	0
その他	0	1,296	1,479	925	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	463	6,926	11,214	6,201	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	831	963	3,645	1,813	0	0	0	0
人に係るコストの合計	831	963	3,645	1,813	0	0	0	0
②合計	3,121	11,182	15,954	10,086	0	0	0	0
純収支 ①-②	-3,121	-11,182	-15,954	-10,086	0	0	0	0

##### ■利用状況

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)
開館日数	0	29	38
年間利用者数	0	6,793	9,414

##### ■管理・運営情報

運営管理者			
運営形態	委託	指定期間	-
開館時間	10:00~16:00 (土日祝等17:00)	休館日	なし

##### ■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出 (円/㎡)	37,602.4	134,722.9	192,216.9	121,514.1	72,491.4
利用者あたり支出 (円/人)	0	1,646.1	1,694.7	1,113.6	796.6
人口あたり支出 (円/人)	22.5	81.4	116.8	73.6	119.6

##### ■施設外観

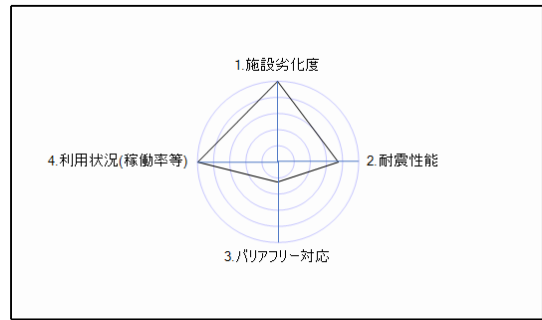


海水浴場 “かめトイレ”

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
3. バリアフリー対応	D	
4. 利用状況(稼働率等)	A	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか(該当施設のみ記入)	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増加が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	商工観光課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	海水浴のための更衣室、トイレとして必要な施設であるため、今後5年間は現状維持とする
今後の方向性	
評価者	商工観光課

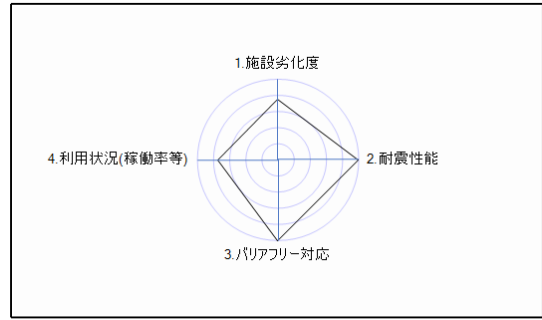
※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	A	
3. バリアフリー対応	A	
4. 利用状況(稼働率等)	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必要性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は低くなりつつある
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか(該当施設のみ記入)	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在する
		⑩民営化が可能な施設か	検討の余地あり
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	検討の余地あり
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	検討の余地あり
評価者	漁港振興課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	改善
理由	開業から16年が経ち、空調設備の改修を検討する必要がでてきている。
今後の方向性	改修が必要な時期及び工事内容の検討を行う。
機能の評価	
評価	現状維持
理由	平成28年度に策定した改善方針により、当面は指定管理者制度を導入しないという方針に基づき現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	漁港振興課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	浜通り服道家
------	--------

開設年	2017年	対象年度	令和04(2022)年度
代表建築年	1889年	施設番号	1001040001 中学校区 焼津中学校

施設概要  
 “当該物件は焼津浜通り地域の伝統的建造物の1つであるとともに、焼津水産翁の1人に数えられる服部安次郎の生家としても知られる。焼津ダイヤモンド構想の焼津漁港周辺のおもてなし拠点(産業・観光機能)として、戦略的に必要と考えられる建物で、平成29年度に所有者より市に寄附された。令和3年4月から民間事業者に貸し出し、運営を任せており、民間のノウハウを活かした運営をしている。”

基本情報				
所在地	焼津市城之腰119-1	大分類	産業関連施設	敷地面積 (㎡)
所管部署	公有財産課	小分類	観光施設	延床面積 (㎡)
用途地域	準工業地域	財産種別	行政財産	施設棟数
設置根拠法令		設置条例		建物所有
利用者	市民及び観光客	緯度	34.862	市有(寄付)
標高	2.7	経度	138.324	

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他

建物情報																
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		劣化度							総合	点数
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送		
居宅	1930	92	141.8	W	2	対象外	対象外	I	I	I	-	-	-	-	A	4
居宅	1989	33	92.64	W	2	対象外	対象外	I	I	I	-	-	-	-	A	4
倉庫	1976	46	79.33	W	1	対象外	対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫	1909	113	64.06	W	2	対象外	対象外	I	I	-	-	-	-	-	A	4

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支(千円)				指定管理者の収支(千円)			
	R02年度(2020)	R03年度(2021)	R04年度(2022)	平均	R02年度(2020)	R03年度(2021)	R04年度(2022)	平均
収入								
使用料(減免後)	0	408	600	336				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	408	600	336	0	0	0	0
支出								
光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	94,919	18,102	70	37,697	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	69	91	53	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	94,919	18,171	161	37,750	0	0	0	0
事業委託費	405	304	0	236	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	405	304	0	236	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	2,750	660	660	1,357				
人件費	1,921	4,932	783	2,545	0	0	0	0
人に係るコストの合計	1,921	4,932	783	2,545	0	0	0	0
②合計	99,995	24,067	1,604	41,889	0	0	0	0
純収支 ①-②	-99,995	-23,659	-1,004	-41,553	0	0	0	0

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)
開館日数	0	122	193
年間利用者数	0	1,482	3,771

■施設外観



■管理・運営情報

運営管理者		指定期間	-
運営形態	民営(貸付)	休館日	未定
開館時間			

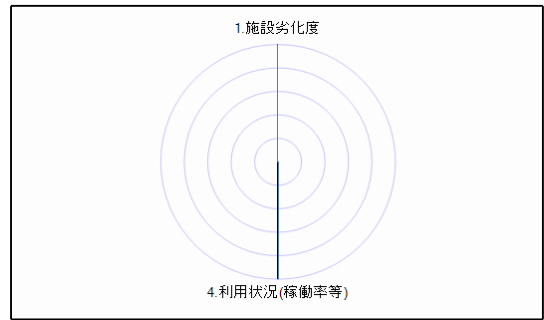
■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出(円/㎡)	264,656.1	63,698.0	4,245.3	110,866.5	72,491.4
利用者あたり支出(円/人)	0	16,239.5	425.4	5,555.0	796.6
人口あたり支出(円/人)	722.0	175.2	11.7	303.0	119.6

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
4. 利用状況(稼働率等)	A	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営である必要性は低い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか(該当施設のみ記入)	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増加が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在する
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	公有財産課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	母屋は令和3年4月にオープンし、蔵は令和4年3月に完成し、利用を開始した。今後は一体利用による活用が期待される場所であり、現状のまま運営を行う。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	浜通りの活性化拠点として、今後、4年間は賑わい交流拠点として有効に機能するよう活用する。
今後の方向性	
評価者	公有財産課

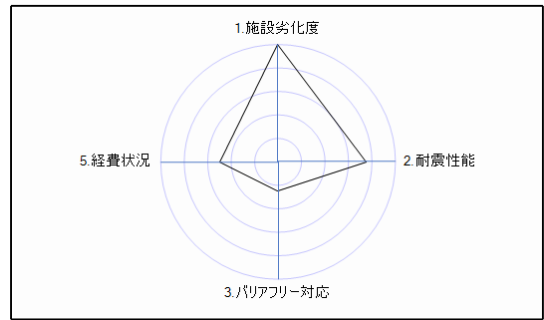
※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
3. バリアフリー対応	D	
5. 経費状況	C	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増加が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	商工観光課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	観光客用の公衆衛生の維持のために必要な施設あるため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	商工観光課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

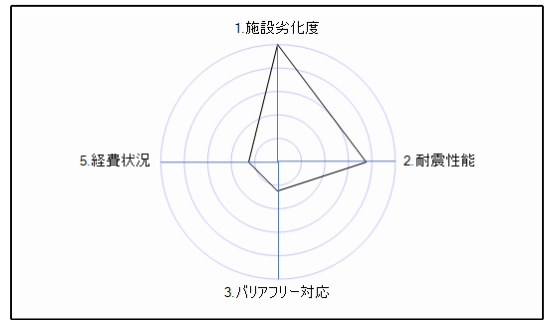




施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
3. バリアフリー対応	D	
5. 経費状況	D	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増加が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	商工観光課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	観光客用の公衆衛生の維持のために必要な施設あるため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	商工観光課

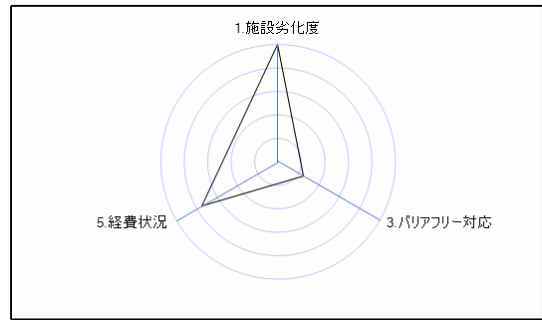
※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
3. バリアフリー対応	D	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増加が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	商工観光課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	観光施設として必要な施設であるため、今後5年間は現状維持とする
今後の方向性	
評価者	商工観光課

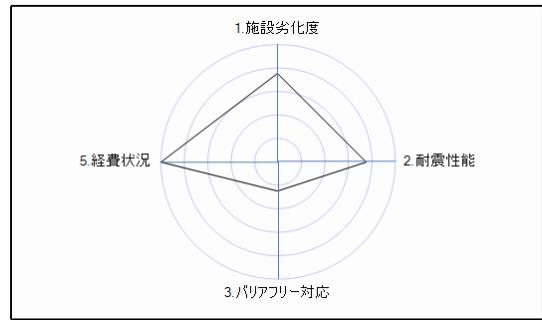
※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	B	
3. バリアフリー対応	D	
5. 経費状況	A	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い	
	⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない	
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	減少が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか		存在しない	
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	商工観光課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	大井川河口野鳥公園トイレ及び休憩所が存続している間は、必要な修繕等を行い、本施設を維持管理していく。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	大井川河口野鳥公園トイレ及び休憩所が存続している間は、本施設の機能を維持していく。
今後の方向性	
評価者	商工観光課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	石脇観光トイレ及び休憩所
------	--------------

開設年	1990年	対象年度	令和04(2022)年度
代表建築年	1989年	施設番号	1002060001 中学校区 東益津中学校

施設概要	高草山ハイキングコースや、高崎不動尊（鳴沢の滝）・花沢城址への入り口に位置する施設。自主運行バスの停留所にも近く満観峰方面へのハイカーにも利用されている。
------	---

基本情報					
所在地	焼津市石脇上592-1	大分類	産業関連施設	敷地面積 (㎡)	
所管部署	商工観光課	小分類	観光施設 (その他)	延床面積 (㎡)	43.73
用途地域	その他	財産種別	行政財産	施設棟数	2棟
設置根拠法令		設置条例		建物所有	市有
利用者	市民及び観光客	緯度	34.892		
標高	7.8	経度	138.323		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	救護所	その他

建物情報																
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		劣化度							総合	点数
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送		
屋外便所	1990	32	27.41	W	1	対象外	対象外	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	-	Ⅱ	-	A	3.6
観光四阿	1990	32	16.32	W	1	対象外	対象外	Ⅲ	-	-	-	-	-	-	B	3

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支 (千円)				指定管理者の収支 (千円)			
	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均
収入								
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0
支出								
光熱水費	41	36	55	44	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	114	114	115	114	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	28	44	41	38	0	0	0	0
その他	0	0	21	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	183	194	211	196	0	0	0	0
事業委託費	156	156	165	159	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	60	16	14	30	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	216	172	179	189	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	831	192	182	402	0	0	0	0
人に係るコストの合計	831	192	182	402	0	0	0	0
②合計	1,230	558	572	787	0	0	0	0
純収支 ①-②	-1,230	-558	-572	-787	0	0	0	0

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)
開館日数	0	0	0
年間利用者数	0	0	0

■施設外観



■管理・運営情報

運営管理者	直営		
運営形態	直営	指定期間	-
開館時間		休館日	なし

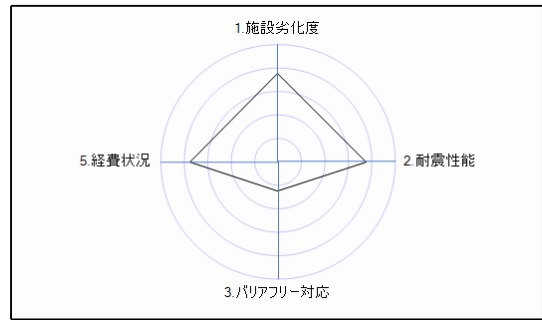
■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出 (円/㎡)	28,127.1	12,760.1	13,080.3	17,989.2	41,937.9
利用者あたり支出 (円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出 (円/人)	8.9	4.1	4.2	5.7	8.9

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	B	
3. バリアフリー対応	D	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必要性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増加が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
		⑩民営化が可能な施設か	不可能
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	商工観光課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	観光客用の公衆衛生の維持及び休憩のために必要な施設あるため、今後5年間は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	商工観光課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない



施設名称	花沢の里休憩所	開設年	1982年	対象年度	令和04(2022)年度		
		代表建築年	1981年	施設番号	1002070001	中学校区	東益津中学校

施設概要	花沢の里最上流部の休憩施設であり、近年夏場のホテル観賞の他多くの方が利用し人気の高いスポットである。
------	--

基本情報						
所在地	焼津市花沢714-3	大分類	産業関連施設	敷地面積 (㎡)		
所管部署	商工観光課	小分類	観光施設(その他)	延床面積 (㎡)	37	
用途地域	その他	財産種別	行政財産	施設棟数	2棟	
設置根拠法令		設置条例		建物所有	市有	
利用者	市民及び観光客	緯度	34.908			
標高	77	経度	138.331			

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	救護所	その他

建物情報																
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		屋根	外部	内部	劣化度				総合	点数
	建築	築後				診断	補強				電気	空調	衛生	搬送		
観光四阿	1982	40	27	W	1	対象外	対象外	Ⅲ	-	-	-	-	-	-	B	3
休憩所(きのこ)	1982	40	10	S	1	対象外	対象外	Ⅱ	-	-	-	-	-	-	A	4

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支(千円)				指定管理者の収支(千円)			
	R02年度(2020)	R03年度(2021)	R04年度(2022)	平均	R02年度(2020)	R03年度(2021)	R04年度(2022)	平均
収入								
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0
支出								
光熱水費	14	10	9	11	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	847	72	567	495	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	43	26	17	29	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	187	0	0	62	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	1,091	108	593	597	0	0	0	0
事業委託費	157	554	211	307	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	545	12	0	186	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	702	566	211	493	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	831	192	1,458	827	0	0	0	0
人に係るコストの合計	831	192	1,458	827	0	0	0	0
②合計	2,624	866	2,262	1,917	0	0	0	0
純収支 ①-②	-2,624	-866	-2,262	-1,917	0	0	0	0

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)
開館日数	0	0	0
年間利用者数	63,000	0	0

■施設外観



■管理・運営情報

運営管理者			
運営形態	直営	指定期間	-
開館時間		休館日	なし

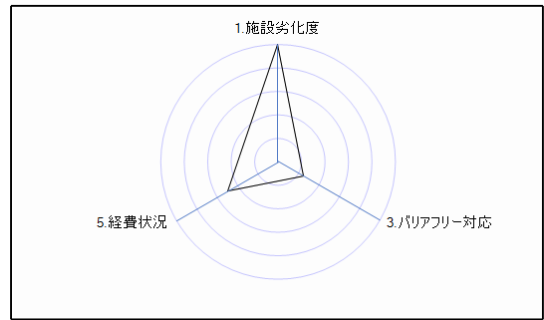
■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出(円/㎡)	43,501.3	14,356.8	61,135.1	39,664.4	41,937.9
利用者あたり支出(円/人)	41.7	0	0	13.9	0
人口あたり支出(円/人)	18.9	6.3	16.6	13.9	8.9

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
3. バリアフリー対応	D	
5. 経費状況	C	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増加が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在する
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	商工観光課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	廃止
理由	令和6年度末で土地賃貸借契約が終了するため、施設の廃止を令和6年度に実施する。
今後の方向性	施設の廃止をする。
機能の評価	
評価	廃止
理由	花沢ビジターセンターに機能を集約し、（トイレ及び休憩所）花沢の里休憩所を廃止する。
今後の方向性	施設の廃止をする。
評価者	商工観光課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	大井川河口野鳥園トイレ及び休憩所
------	------------------

開設年	1992年	対象年度	令和04(2022)年度
代表建築年	1992年	施設番号	1002080001 中学校区 大井川中学校

施設概要	野鳥の棲息地としてたくさんの水鳥たちが集まる大井川河口にある施設。バードウォッチングに多くの方が来園することから、トイレや休憩施設も設けられた。
------	--

基本情報					
所在地	焼津市飯淵2036	大分類	産業関連施設	敷地面積 (㎡)	
所管部署	商工観光課	小分類	観光施設 (その他)	延床面積 (㎡)	57.94
用途地域	工業専用地域	財産種別	行政財産	施設棟数	3棟
設置根拠法令		設置条例		建物所有	市有
利用者	市民及び観光者	緯度	34.771		
標高	2.9	経度	138.297		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	教護所	その他

建物情報																
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		劣化度							総合	点数
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送		
屋外便所	1992	30	31.46	W	1	対象外	対象外	-	-	Ⅲ	-	-	-	-	B	3
四阿 (西側)	1992	30	13.24	W	1	対象外	対象外	Ⅱ	-	Ⅲ	-	-	-	-	A	3.5
四阿 (東側)	1992	30	13.24	W	1	対象外	対象外	Ⅱ	-	Ⅲ	-	-	-	-	A	3.5

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

#### 管理運営情報

##### ■経費情報

区分	市の収支 (千円)				指定管理者の収支 (千円)			
	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均
収入								
使用料(減免後)	0	0	0	0				
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
①合計	0	0	0	0	0	0	0	0
支出								
光熱水費	37	38	30	35	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	555	138	120	271	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	2	3	3	3	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	184	95	33	104	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	778	274	186	413	0	0	0	0
事業委託費	397	838	643	626	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	460	12	35	169	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	857	850	678	795	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	831	192	182	402	0	0	0	0
人に係るコストの合計	831	192	182	402	0	0	0	0
②合計	2,466	1,316	1,046	1,609	0	0	0	0
純収支 ①-②	-2,466	-1,316	-1,046	-1,609	0	0	0	0

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)
開館日数	0	0	0
年間利用者数	0	0	0

##### ■施設外観



##### ■管理・運営情報

運営管理者	直営	指定期間	-
運営形態		休館日	なし
開館時間			

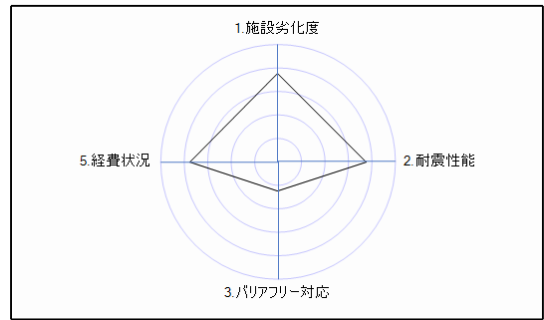
##### ■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出 (円/㎡)	42,561.3	22,713.2	18,053.2	27,775.9	41,937.9
利用者あたり支出 (円/人)	0	0	0	0	0
人口あたり支出 (円/人)	17.8	9.6	7.7	11.7	8.9

施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	B	
3. バリアフリー対応	D	
5. 経費状況	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下している
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即していない
		③利用実態が設置目的に即しているか	即していない
	(2) 必要性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか（該当施設のみ記入）	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	減少が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	商工観光課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	施設の存続している間は、必要な修繕等を行い、本施設を維持管理していく。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	施設の存続している間は、公衆衛生の維持のために必要であり、他に代替となる施設がないため、本施設の機能を維持していく。
今後の方向性	
評価者	商工観光課

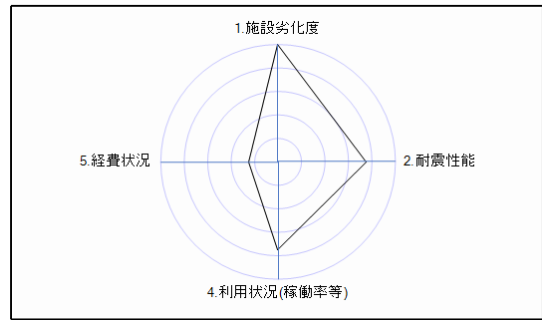
※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	B	
4. 利用状況(稼働率等)	B	
5. 経費状況	D	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は低くなりつつある
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	法定だが必置ではない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか(該当施設のみ記入)	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
		⑩民営化が可能な施設か	不可能
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	検討の余地あり
評価者	商工観光課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	高齢者の就業機会の確保や、生きがいのある生活を送る高齢者の創出に貢献できている施設である。旧焼津地区の会員の利便性向上等を目的に、将来、施設機能を移転する予定であるが、当面は現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	商工観光課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

施設名称	大井川商工業研修センター
------	--------------

開設年	1984年	対象年度	令和04(2022)年度
代表建築年	1984年	施設番号	1003020001 中学校区 大井川中学校

施設概要	商工業の振興に資することを目的として、大井川町役場隣地に設置された。大井川商工会が入居しているほか、講堂、会議室、小会議室、和室の4部屋を有料で利用できる。
------	--

基本情報					
所在地	焼津市宗高900	大分類	産業関連施設	敷地面積 (㎡)	
所管部署	商工観光課	小分類	商工施設	延床面積 (㎡)	717.41
用途地域	その他	財産種別	行政財産	施設棟数	2棟
設置根拠法令		設置条例	焼津市大井川商工業研修センター条例	建物所有	市有
利用者	市民、行政	緯度	34.803		
標高	8.7	経度	138.284		

災害発生時の位置付け						
災害対策本部	津波避難場所	避難地	避難所	福祉避難所	救護所	その他

建物情報																	
建物名	年		延床面積 (㎡)	構造	階数	耐震状況		劣化度							総合	点数	
	建築	築後				診断	補強	屋根	外部	内部	電気	空調	衛生	搬送			
研修センター	1984	38	595.91	RC	2	対象外	対象外	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	-	A	3.5
事務所	1984	38	121.5	RC	2	対象外	対象外	Ⅲ	Ⅱ	-	-	-	-	-	-	B	2.7

※上表には、延べ床面積の大きい順に最大8棟までを表示しています

管理運営情報

■経費情報

区分	市の収支 (千円)				指定管理者の収支 (千円)			
	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均
収入								
使用料(減免後)	59	79	77	72	0	0	0	0
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	12	0	0	4	0	0	0	0
①合計	71	79	77	76	0	0	0	0
支出								
光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	158	81	0	80	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	158	81	0	80	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	0	28	9	12	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	0	28	9	12	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	411	612	770	598	0	0	0	0
人に係るコストの合計	411	612	770	598	0	0	0	0
②合計	569	721	779	690	0	0	0	0
①-②	-498	-642	-702	-614	0	0	0	0

区分	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均	R02年度 (2020)	R03年度 (2021)	R04年度 (2022)	平均
収入								
使用料(減免後)	59	79	77	72	0	0	0	0
指定管理料					0	0	0	0
利用料金収入					0	0	0	0
自主事業収入					0	0	0	0
その他の収入	12	0	0	4	0	0	0	0
①合計	71	79	77	76	0	0	0	0
支出								
光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0
工事請負費・修繕費	158	81	0	80	0	0	0	0
土地・建物等の使用料・賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
施設・設備管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
施設に係るコストの合計	158	81	0	80	0	0	0	0
事業委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)	0	28	9	12	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業以外)の合計	0	28	9	12	0	0	0	0
事業委託費					0	0	0	0
事業物件費(需用費・役務費等)					0	0	0	0
その他					0	0	0	0
事業運営に係るコスト(自主事業分)の合計					0	0	0	0
その他	0	0	0	0				
人件費	411	612	770	598	0	0	0	0
人に係るコストの合計	411	612	770	598	0	0	0	0
②合計	569	721	779	690	0	0	0	0
①-②	-498	-642	-702	-614	0	0	0	0

■利用状況

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)
開館日数	357	356	356
年間利用者数	3,504	2,278	1,155

■管理・運営情報

運営管理者	委託		
運営形態	委託	指定期間	-
開館時間	9:00~22:00	休館日	年末年始

■単位あたり経費等

データ項目	R02(2020)	R03(2021)	R04(2022)	平均	類似平均
床面積あたり支出 (円/㎡)	793.1	1,005.0	1,085.9	961.3	3,161.8
利用者あたり支出 (円/人)	162.4	316.5	478.5	319.1	540.3
人口あたり支出 (円/人)	4.1	5.2	5.7	5.0	7.4

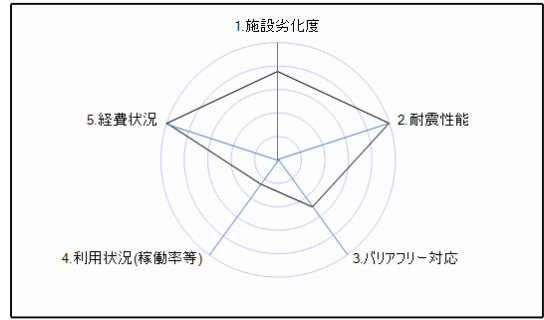
■施設外観



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	B	
2. 耐震性能	A	
3. バリアフリー対応	C	
4. 利用状況(稼働率等)	D	
5. 経費状況	A	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必需性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか(該当施設のみ記入)	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	減少が見込まれる
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	商工観光課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	令和5年度中に施設機能を改修後の大井川保健相談センターへ移転し、移転後の建物は公有財産課で改修工事(詳細未定)を行う予定。
今後の方向性	
評価者	商工観光課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない

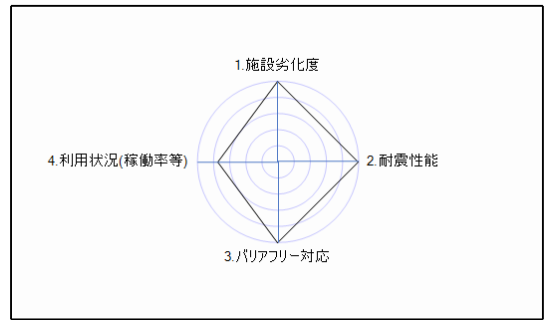




施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	A	
3. バリアフリー対応	A	
4. 利用状況(稼働率等)	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下していない
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必要性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか(該当施設のみ記入)	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在する
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	漁港振興課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模な改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	深層水の情報発信をする施設として利用されているため、現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	漁港振興課

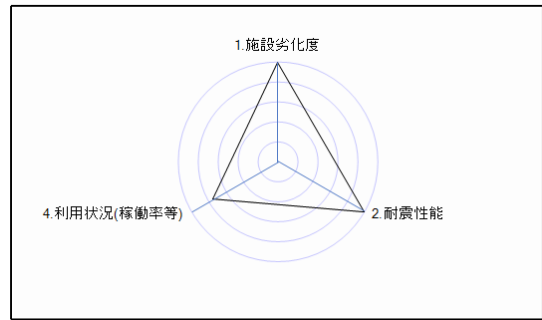
※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない



施設評価

■ 1次評価

項目	評価	備考
1. 施設劣化度	A	
2. 耐震性能	A	
4. 利用状況(稼働率等)	B	



■ 2次評価

分類		評価項目	評価
1. 公共性	(1) 公益性	①設置目的の意義が低下していないか	低下しつつある
		②サービス内容が設置目的に即しているか	即している
		③利用実態が設置目的に即しているか	即している
	(2) 必要性	④市が自ら運営主体として関与すべき施設か	市が運営主体である必要性は高い
		⑤法律等により設置が義務付けられている施設か	義務付けられていない
2. 有効性	(1) 利用度	⑥定員等に対する充足率はどうか(該当施設のみ記入)	
		⑦今後の人口減少、少子高齢化を踏まえ、利用者数の見込みはどうか	増減は見込まれない
	(2) 互換性	⑧施設の利用実態から利用圏域はどうか	広域
		⑨利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか	存在しない
3. 代替性	(1) 民間参入の可能性	⑩民営化が可能な施設か	不可能
		⑪管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か	不可能
		⑫民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか	不可能
評価者	漁港振興課		

■ 3次評価

建物の評価	
評価	現状維持
理由	今後5年間に大規模な改修は必要ないため現状維持とする。
今後の方向性	
機能の評価	
評価	現状維持
理由	新たな産業分野への深層水の利用を促進する施設であり、今後の方向性を検討しつつ現状維持とする。
今後の方向性	
評価者	漁港振興課

※「評価」欄が「現状維持」の施設については「今後の方向性」欄は記載しない